



# 月根尾

1月

266号

【「月根尾」とは、学校のある地域の古名「突根尾原」に由来する地名です】

## 「紀元前来い」



校長 岡 秀樹

2024年が始まりました。新年といえば、百人一首。この技量を競うのが「高校かるた選手権」ですが、1979年の第1回の参加校は全国でわずか8校だったそうです。それが、アニメや映画化もされた漫画『ちはやふる』[末次由紀・著]などの後押しもあって競技者が増加し、昨年の大会では、全国から399校が予選に参加するまで盛り上がりを見せています。

昨年度から必修科目の「古典」は「言語文化」と名前を変えました。簡単に言うと、言葉を通して現代と古典の世界の文化的つながりを重視する教科になった、ということです。現代の若者の心をとらえているという意味で、競技かるたは「言語文化」の一つの象徴ではないかと考えています(神楽にも同じことが言えますね)。

さて、百人一首を扱った書物は世の中に星の数ほど流布していますが、本校の図書館で先日とても面白い本を見つけました。和歌の世界観をわずか5文字に要約するという、なかなかチャレンジングな視点で書かれています(『5文字で百人一首』[すとう けんたろう・著])。

夜をこめて 鳥のそらねは はかるとも よに逢坂の 関は許さじ 清少納言

この有名な和歌を5文字で表したのが、タイトルの「紀元前来い」です。作者の清少納言が紀元前の中国の故事をもとにこの和歌を作ったこと、相手を追い返す際の表現として「おととい来やがれ」という言い回しがあること、などを知っていると「紀元前来い」という意味が分かってニヤリとできる、という仕組みです(ちなみに『ちはやふる』では、第44巻に千早がこの札を取るときに清少納言と会話を交わすシーンが出てきますね)。

言語文化のタネは、実はあちこちに蒔かれています。古典の世界と自分とのつながりを探してみると、言語文化の芽が出て育っていくのではないのでしょうか。そんな1年にして欲しいと思っています。

3年1組

生命地域学

## 課題研究 最終発表会

12/5

3年1組の生徒が、学校設定科目「生命地域学」の集大成として課題研究の最終発表会を行いました。「好き」×「地域にいいこと」で人を喜ばせるを大きなテーマとし、12班に分かれて9か月間、課題研究に取り組んできました。最終発表会では、関わってくださった地域の方、2年生、教職員を前に発表を行いました。

研究内容は次ページをご覧ください →

講師として来ていただいた島根県教育指導課の佐々木企画幹は、各班の発表ごとに本質的な質問が積極的に出ていて、最終発表会が学びある時間になっていたこと、7月に行った「資源獲得プレゼン」と比べて、新たな気づきを拾って、情報を丁寧に扱っていることや、振り返り・分析を繰り返し、質が高まったことを評価してくださいました。

今年は課題研究を進めていく中で、グループを越えて協力し合う姿がたびたび見られました。様々な場面で他班の活動にも自然と関わり、それがスムーズに研究を進めていくことに繋がっていました。それでも、「余裕を持って早めに動き出せばよかった」といった反省が多かったです。

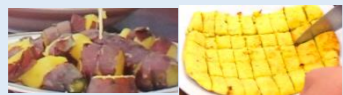
今年度から課題研究に取り組み始めている2年生は、そういった3年生の気づきや、その他に自分達の研究に取り入れられること等、これからは繋がる学びがあったのではないのでしょうか。

この課題研究では、地域の方や様々な企業にご協力いただき、研究を深めることができました。生徒のために、材料やアイデアの提供、アンケートへの協力をしていただき、本当にありがとうございました。

# 3年1組 研究内容一覧

## 1班 飯南高校生に「森の絹」を知ってもらう

「森の絹」(飯南町産の無農薬栽培のさつまいも)が全国的に広まっていることを知るが、高校内での認知度が思っていたよりも低いことから、調理して食べてもらうことに。校内での認知度を上げ、特産品について語ってもらうことに期待。



## 2班 害虫対策してみた

野菜の上にかける寒冷紗(かんれいしゃ)シートと手作りの山椒スプレーを使って、大根と白菜の虫の被害が改善するかどうか確かめた。



害虫対策:無(左)/有(右)

## 3班 サツマイモの知名度を飯南高校生から上げる

飯南町にサツマイモを使ったメニューが少ないことから、ミエルさんとコラボ商品を開発。考案した“さつまいもサンドパン”をミエルさんの協力のもと、店頭、高校で販売。パッケージのデザインやふるさと納税のシールを貼る等の工夫も。



## 4班 地域の小学生に「本」を好きになってもらう

子どもの読書量が減っているという統計データから、小学生を本好きにするために小学校に読み聞かせに行ったり、絵や字を使ったポップ(本の紹介文)作りを提案したりした。ポップを作ってくれた小学生には、そのデザインをもとにしおりを作って渡した。



## 5班 農業の魅力を若者に伝えよう

農家の高齢化、担い手不足を解消するため、農業を体験したり、農家さんにインタビューしたりし、やりがいや楽しさをパンフレットに詰め込んだ。中高生に配ることで農業の魅力を知ってもらい、農業への意識を変えようとした。



## 6班 飯南町の木を使って思い出を残そう

飯南町で採れた木材の端材を使って積み木、ベンチを製作。保育所にプレゼントする予定。



## 7班 スポーツを通して子どもたちを笑顔にする

町内に遊べる場所が少ないことから、小学生を対象にドッジボール大会を開催。



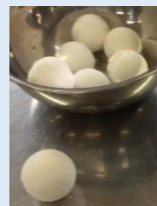
## 8班 流す

特産品を流して観光客を飯南町に流そうと、竹製の流しそうめん台に特産品が当たるくじを入れたガチャ玉を流す(転がす)イベントを企画。飯南町の魅力を知ってもらい、竹の活用にも繋がるイベントにした。



## 9班 森林ゴ・パブでリラックス

手軽にリラックスし、免疫力を向上させるためのバスボムを試作。飯南町の特産品で香り付けをしようと、クロモジ(森林)+りんごを使って挑戦。アレルギーに配慮しながら使用してもらう難しさを知り、配布は断念。発表時にはバスボム体験も。



## 10班 捨てずに映えさせよう

廃棄される農作物(りんご・ブルーベリー)を使って、誰でも簡単に作れる“映えスイーツ”(ヨーグルトブルーベリームース)を作った。「鐘や」さんに協力してもらい中高生食堂の時間帯に2日間限定で販売。SNSでもレシピを発信予定。



## 11班 山の資源を子どもたちの未来へ

保育所を訪問し、おままごと用のキッチンがあると更に遊びが楽しくなると考え、飯南町の木材を使って、高さ等にも配慮した子ども目線のキッチンを一から設計し、製作した。



## 12班 飯南町の木材でペットと飼い主を喜ばせる

町内にペットと飼い主が遊ぶ場所が少ないことから、頓原道の駅裏のドッグランに、飯南町の木材を使った遊具を製作・設置し、ペットも飼い主も楽しめるようにした。



## JRC部 12/7

飯南病院へ応援メッセージを届けました

部長の黒田蒼子さんは、「いつもお世話になっている飯南病院に感謝の気持ちを伝えるためと、入院されている方を応援するために、2種類のメッセージを贈りました。贈呈式では、院長先生をはじめとする職員の方々に集まっていたいただき、普段なかなか伝えることができない思いを直接伝えることができました。今回集まったメッセージは、文化祭で生徒、先生、保護者、地域の方々に書いていただきました。それぞれの思いを1つにすることができ、患者さん一人ひとりにも思いを伝える形にできてよかったと思います。企画に協力してくださった皆様、ありがとうございました。」と話してくれました。



## 野球部 12/9

「出雲子ども野球フェスタ2023」に参加

「出雲子ども野球フェスタ～親子で高校球児と一緒に野球をしよう!」が出雲ドームで開催され、野球部が昨年に続き参加しました。未就学児を対象に、野球の楽しさを体験してもらおうと、県高校野球連盟が企画したものです。

今年は、参加した高校が「打つ・投げる・捕る」のいずれかをテーマに内容を考えました。参加した子どもたちは、各校が考えた5つのブースを回って野球体験をしました。飯南高校は、「遠くへ飛ばそう」をテーマに、“打つ”ブースを考えました。3人のマネージャーは、人気アニメのキャラクターを手作りし、そこを狙って遠くへ飛ばせるようにしたり、シールを集めた



子どもに景品を渡したりして、楽しみながら野球を体験できるように工夫していました。

子どもたちと各ブースを回った野球部員は、「目線に合わせて子どもたちが楽しめるようにした」と話していました。野球の楽しさが伝わっていたら嬉しいです。

## 剣道部 12/15-16

令和5年度島根県高等学校新人剣道大会

【男子個人】2名出場

【女子個人】2名出場

前島 柚花 2回戦進出

【男子団体】トーナメント1回戦

飯南 0-2 大社(3引き分け)

【女子団体】予選リーグ

飯南 2-0 矢上(3引き分け)

飯南 0-1 横田(4引き分け)

決勝トーナメント1回戦

飯南 0-1 松江南(4引き分け)

**第6位**



# スキー部

12/22

## 壮行式

スキー部を代表して、部長の吉川真太さんが「中国大会、全国大会出場を目標に、一人ひとりのスキル向上を図ってきました。レースでは緊張感を持ち、今まで部活動や自主トレーニングで積み重ねてきた経験を生かしていきたいです。これまでスキーができたのは、顧問の先生やコーチの方、保護者の方のサポートがあったからだと思います。全ての方への感謝の気持ちを込めてスタートを切ります。」と挨拶をしてくれました。



## 第73回全国高等学校スキー大会島根県予選会 1/5

(雪不足のためS Lのみ)

【男子S L (回転)】9名出場

和久利 昊生	<b>1位</b>	甲斐 大河	<b>5位</b>
和泉 海音	<b>3位</b>	五所尾 航大	<b>6位</b>
甲斐 溪斗	<b>4位</b>		

【女子S L (回転)】3名出場

景山 英	<b>3位</b>	原田 樹乃	<b>5位</b>
		森山 佳保	<b>6位</b>

**↓**  
この結果、  
和久利さん、和泉さん、景山さんが、  
2月に富山県で開催予定の  
インターハイへの出場権を獲得!!



# 吹奏楽部

12/24

## 第47回全日本アンサンブルコンテスト島根県大会

【管楽五重奏】**銅賞**

# ハンドボール部

12/23-24

## 第47回全国高校選抜ハンドボール大会県予選会兼 令和5年度中国高校新人ハンドボール大会県予選会

【1回戦】	飯南 18-13	松江東
【準決勝】	飯南 20-21	松江南
【3位決定戦】	飯南 21-14	松江高専



**↓**  
この結果、2月に山口県で開催予定の

**中国高校新人ハンドボール大会への出場権を獲得!**

## ビブリオバトル2023島根県大会

12/9

ビッグハート出雲で開催された上記大会に成田花梨さんがバトラーとして参加しました。5分間という限られた時間の中で、イチ押しの本を「読んでみたい!」と思ってもらえるようにプレゼンする大会です。

成田さんのエントリー本は、「老犬ホーム」を題材として犬の幸せと主人公の成長をミステリー仕立てで描いた『さいごの毛布』(近藤史恵・著)です。

全国大会に行くことは叶いませんでしたが、閉会式の中で大会実行委員長から、魅力的なタイトルの本を選書しているという講評をいただきました。次年度は、校内で予選が開催されるくらいの盛り上がりができることを期待しています。



# 2月の主な行事予定

- 2月 1日(木) 1~4限授業・午後放課  
スクールカウンセラー(S C)来校  
(午前:菅先生、高橋先生)
- 8日(木) 3年生出校日②  
S C来校(午後:菅先生)
- 9日(金) 1・2年生試験発表
- 13日(火) S C来校(午後:高橋先生)  
第3回PTA評議員会

- 15日(木) 3年生出校日③
- 19日(月) 1・2年生学年末試験(~22日)
- 26日(月) S C来校(午後:菅先生)
- 29日(木) 3年生を送る会  
3年生鵬雲会入会式
- 3月 1日(金) 卒業式
- 5日(火) 高校入学者選抜学力検査日(~6日)  
生徒は特別休業日(~6日)